

9月の 広島中央保健生活協同組合だより

けんこう

2014年9月号

2014年7月31日現在
組合員数 33,926人
出資金 11億2,164万円
発行責任者 生協広報委員会

No.500

広島中央保健生活協同組合

編集部連絡先

〒733-0031

広島市西区観音町16-19

電話(082)-532-1264

FAX(082)-532-1267

アドレス

http://www.hch.coop/

Facebook

「広島中央保健生活協同組合」

平和をこころから

集団的自衛権を容認する閣議決定に抗議し撤回をもとめます

日本医療福祉生活協同組合連合会
会長理事 藤原 高明

7月1日安倍内閣は、集団的自衛権の行使は憲法9条の下では認められないとした歴代内閣の憲法解釈を崩す閣議決定をしました。

これは、憲法の柱である平和主義を根本から覆す解釈改憲であり、立憲主義と平和主義に反し違憲です。国会にも諮らず、国民の判断も仰がないまま時の内閣が閣議決定で決められるものではありません。

日本国憲法前文は、第2次世界大戦での多くの犠牲をだした反省の上に立ち「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し」、憲法9条は「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」と掲げています。

日本国憲法に基づく「理念」と「いのちの章典」を持つ医療福祉生協は、今回の閣議決定を決して認める訳にはいきません。

日本の立憲主義の歴史において禍根を残す集団的自衛権の行使を容認する閣議決定に対し強く抗議し、撤回を求めるとともに、今後の関係法律の改正等も許さない運動に引き続きとりくむことを決意するものです。

以上

日本医療福祉生活協同組合連合会の声明

掲示板

無料法律相談のご案内

毎月第3土曜日、福島生協病院相談室にて無料法律相談を行っています。ご希望の方は下記までご予約下さい。

お申込み 福島生協病院 医療相談室
☎(082)292-3171(代)

建設の

新病院 “いま”

8月2日、新病院の基礎の上に一本目の柱が立ち、これを記念した「立柱式(りっちゆうしき)」が行われました。これから勢いよく鉄骨が組み立ていき、9月末頃には上棟式が予定されています。



紅白の幕が巻かれた柱のボルトを締めている様子。

8・6平和学習会では、元職員の前山寿美子さんによる講演会が企画され、被爆体験や福島生協病院が果たしてきた役割、そしてわたしたちへのメッセージが語られました。

2015年4月はNPT(核不拡散防止条約)再検討会議がニューヨークで開かれます。来年被爆70年にあたる2015年の同会議に、日本から、そして広島から核兵器廃絶を訴える声を届けましょう。

子どもたちに明るい平和な未来を残していくためにも、今、行動することが求められています。



原水爆禁止世界大会

広島に原爆が投下されて69回目の夏を迎えました。8月6日の原爆の日、43年ぶりに降った雨は、日本政府の集団的自衛権行使容認に対して流れる被爆者や戦争のない平和な世界を願う人々の涙だったのではないのでしょうか。

生協では、原水爆禁止世界大会やピースアクション、平和行進、平和学習、ピースナイターなど、平和をつくる様々な取り組みが行われました。



ピースアクション in ヒロシマ 虹のひろば

心の窓

笑いは健康に良いと言われています。

脳科学者の茂木健一氏は「笑いは、存在を脅かす事態に対して、脳が機能不全に陥らないための一つの安全弁である」とし「私たちが生きるエネルギーを引き出すことのできる、尽きることはない源」と強調します。

先日、広島中央保健生協創立60周年、コープ五日市診療所開設20周年、生協さきき病院開設10周年を記念して行われた早川一光先生の講演では、「感情豊かな、笑いのある人はボケないよ。いいねー!」と話をされました。

(かすみそつ)

理事長対談

〈新旧理事長インタビュー〉

第1回

あかるいまちづくりと生協



2014年度第59回通常総代会にて、2002年以来12年ぶりとなる理事長の交代がありました。今回、近江和子副理事長にインタビューをお願いし、新任の藤原秀文理事長と退任された吉富啓一郎顧問に生協の未来についてお話しを伺いました。3回に分けて掲載します。

藤原秀文理事長 × 吉富啓一郎顧問(前理事長)

インタビュアー：近江和子副理事長

■近江 先ずは「生協との出会い」についてお二人のエピソードを伺いたと思います。

初めに、生協さき病院の建設や生協けんこうプラザの建設、そして現在進行中の新病院建設など大変な時期を理事長として務められた吉富顧問からお願いします。

■吉富 医療生協との出会いは15年前にさかのぼります。当時、全国の協同集会があり、私はその実行委員長をしていました。そこに実行委員として関わっていた濱口専務(当時)と知り合い、医療生協に誘われたのが始まりです。ただ、医療生協については全くの無知でしたが、医療生協活動を通じて色々な方と出会うことになり、社会的な視野が広がりました。



吉富顧問

■藤原 学生時代、「真の医学医療を考える会」という会で日本の医療問題を深めたりしていました。その時既に医療生協の存在は

知っていましたし、篠崎さん(当時、日本生協連医療部会事務局長)を大学祭にお呼びして「患者が主体になり医療に参加する」というテーマで講演をしてもらったりもしました。その頃から、医療生協や民医連の医療機関で働こうと心に決めていました。

初めは広島医療生協に就職しました。3年の研修を終えた後、当時経営的に苦しんでいた福山医療生協へ移りました。福山医療生協の診療所で8年間勤め、1994年に広島中央保健生協へやってくるわけです。

当時の広島中央保健生協も経営的に非常に厳しい状況だったということを知っています。

■近江 生協創立59年、来年は60年を迎えようとしていますが、生協が果たしてきた役割や生協のこれからの未来についてお聞かせ下さい。

■吉富 被爆・貧困・差別という地域で無差別平等の医療をやった来たというのが、私たちの存在の背景であり、私たちが発展してきた要因であり、私たちのブランドだと思っています。

第9回 もしもプロジェクトのご案内

現在建設中の新病院について考えるもしもプロジェクト、今回のテーマは「院内表示」です。さまざまな人が利用する病院で、どんな人にも分かりやすい表示、見やすい表示とはどのようなものでしょう?ご自身の経験や思いから、「こういう表示は分かりやすかった」「こういう表示があればいいなと思った」など、たくさんの意見をお聞かせください。また、当日は、建設会社の方からの他施設の案内表示の紹介などもあります。案内表示に関する理解を深めたいうで、新病院の院内表示がより良いものになるよう、みんなで話し合います。

初めて参加される方も大歓迎!もちろん、これまでに参加したことがある方も大歓迎です!お友達とお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

日時▶9月13日(土)13:30~16:00
場所▶生協けんこうプラザ5階

参加希望の方は、生協組織部(082-532-1264)までお申し込みください。

特別増資キャンペーン

実施中!

第2弾

出資金残高通知の振込みによる増資は、7月31日現在177件463万円に特別増資キャンペーンの口数は、Aコース4口、Bコース6口、Cコース8口、Dコース50口にのびました。ご協力ありがとうございました。その結果7月は、出資金を増やし2,126万円、純増959万円となりました。徐々に昨年の勢いに近づいています。引き続きご協力よろしくお願いいたします。

特別増資
キャンペーンに
ご協力下さい。



1万人訪問 に取り組もう!

現在 3,925人

第16回統一訪問行動は、7月6日(日)己斐上支部の主催で開催されました。己斐上支部で統一訪問行動を行うのは3回目。この間も支部で手分けして組合員宅を回っています。

今回の統一訪問を合わせると、己斐上支部では562件の組合員さんを訪問したことになります。

次回、第18回統一訪問行動 中区南支部主催
10月18日(土)10時~12時
力を合わせて1万人訪問を達成しましょう。

参加可能
な方は 生協組織部(082-532-1264)へ
参加登録をお願いします。



子育て広場 コープ のびのびクラブ



★バザー用品募集

子どもの成長とともに必要となる物も変わってきますが、成長に合わせて揃えた洋服やベビーグッズなど、お家で眠っていたりませんか?生協ではリサイクルバザー開催に向けて、右記のバザー用品を大募集しています。

※売上金は、子育て広場「コープのびのびクラブ」で使用するおもちゃの購入代として活用させていただきます。

お寄せ頂きたいもの

- おもちゃ(ぬいぐるみ以外)
- 子ども用衣類
- 赤ちゃん向けの絵本
- その他ベビーグッズ

詳しくは生協組織部(082-532-1264)へお問い合わせください。

十家庭の医学

沈黙の臓器 肝臓を知ろう



福島生協病院内科医師 石原浩人

本年4月より福島生協病院内科に着任いたしました石原浩人と申します。専門領域は消化器で、中でも肝臓疾患を中心に診断・治療を行ってまいりました。沈黙の臓器とも言われる肝臓。今回から2回に分けて肝臓に関する疾患や治療についてご紹介いたします。

対象疾患・特徴

肝臓領域では、急性肝炎・慢性肝炎・肝硬変(肝硬変に随伴する症状として、食道静脈瘤など)・肝臓に対する治療を積極的に進めています。

特に、慢性肝疾患は無症状で進行することが多いため、肝障害が指摘されたらできるだけ早く肝臓の精密検査を受ける事が必要になります。

また、肝臓は高い頻度で再発することが特徴のひとつであり、早期に治療するのも必要ですが、再発予防も重要になるきめ細やかな診療が必要です。

当科では、患者さま個々のニーズと病態を総合的に判断し、最新・最善の診療を行うこと

とをモットーとしています。

円滑な連携

地域の先生方と連携して、お近くの診療所でも日々の治療を行っていただけるように円滑な病診連携を心がけると同時に、他病院とも連携しながら診断・治療には万全を期した状態を臨んでいます。生体肝移植などの高度先端医療について広島大学病院と連携して、最適な治療法を提示させていただきます。

また、広島県内の肝臓疾患専門医で構成される広島肝臓StudyGroup(研究代表者:広島大学病院消化器内分沁内科 茶山一彰教授)の登録病院として、新薬の創薬などの臨床研究事業の一端を担っています。

慢性ウイルス性肝炎 治療費助成制度に

(C型慢性肝炎に対するインターフェロン治療、B型慢性肝炎に対する抗ウイルス療法)

2008年4月から、厚生労働省と都道府県によってインターフェロン治療費助成制度

が始まりました。

これは、(1)肝炎が日本で最大の感染症であること、(2)インターフェロン治療が奏功すれば、慢性肝炎から引き起こされる肝硬変や肝臓などのより重篤な病態への進行を防止することができること、(3)しかしながら、インターフェロン治療が高額であること、などを鑑みて早期治療の推進のために開始された制度です。

具体的には、世帯あたりの市町村民税課税年額に応じて自己負担額が決まります。当院は選定された病院に含まれており、肝臓担当医により助成金制度を有効に活用出来ます。

現在では、いわゆる難治性肝炎と呼ばれていたC型慢性肝炎(遺伝子型がG、高ウイルス量)の患者さんも、9割の確率で根治出来る薬が開発、臨床使用されています。

また、平成26年秋には、インターフェロンを使用しない内服のみの治療法も保険適応になる予定です。同時に、当院肝臓内科の医師は、肝臓領域での身体障害者福祉法指定医師でもあり、肝臓に起因する身体障害者申請をする事も可能です。

次回は肝臓に関する主な疾患についてご紹介いたします。

医学生研修医情報

新制度

総合診療医を育てる病院へ

2017年度に医師の専門医制度が新しく変わります。新制度の目玉である「総合診療医」を育成できる医療機関をめざし、法人内で体制づくりを開始しました。

大学を卒業して医師国家試験に合格した医師は、指定の医療機関で臨床研修を受けることが義務付けられています。2年間の初期研修で、基本的な診療能力や医師としての人格を養った研修医は、後期研修に進みます。後期研修では、総合内科や外科、産婦人科、小児科など19の基本領域から1つだけを選び、いずれかの専門医資格を取得することが義務となります。新制度には内科や外科など従来からある専門科に「総合診療科(医)」が追加されます。「総合診療医」の役割は、「日常的に頻度が高く、幅広い領域の疾病などへの適切な初期対応と必要に応じた継続医療を提供することです。また、地域により異なるニーズにも的確に対応できる「地域を診る医師」としての視点も重要とされています。

この度、生協の院所は「総合診療科」を取得できる医療機関となるべく、「日本プライマリ・ケア連合学会」の後期研修プログラムを申請しました。申請が受理されれば2015年4月から研修を受け入れることが可能です。また、指導にあたるベテラン医師の養成も進めており、高岡克寿医師を中心に、北口浩医師、飯田年啓医師(以上、福島生協病院)、福山慎二医師、重本英司医師、三好孝生医師(以上、生協さえき病院)、佐々木敏哉医師(コープ五日市診療所)、勝谷成子医師(生協内科クリニック)が指導医や認定医の認定を得ています。

今後も高齢者が増える中、在宅診療など地域のかかりつけ医としての役割を担う総合診療医のニーズは高まります。地域を診る医師である総合診療医を目指す医師や医学生にとって、医療生協の院所や活動は、他の医療機関では味わえない学びの多いフィールドです。とりわけ組合員との関わりはこの地域に自分達が求められていると実感できるはず。生協の医師として成長したいと思える環境を地域組合員、職員でつくっていきましょう。

[2017年度 新専門医制度]

初期臨床研修(2年)

基本領域専門医取得のための研修(3年以上)

基本領域専門医(19領域)

- 総合診療科
- リハビリ科
- 形成外科
- 救急科
- 臨床検査
- 病理
- 麻酔科
- 放射線科
- 脳神経外科
- 泌尿器科
- 耳鼻咽喉科
- 眼科
- 産婦人科
- 整形外科
- 神経科
- 皮膚科
- 小児科
- 総合内科

サブスペシャリティ領域専門医取得のための研修(3年以上)

※今後さらに増える可能性がある

サブスペシャリティ領域専門医(17領域)

- リウマチ
- 小児外科
- 心臓血管外科
- 呼吸器外科
- 消化器外科
- 神経内科
- 老年病
- 感染症
- アレルギー
- 肝臓
- 腎臓
- 糖尿病
- 内分泌代謝科
- 血液
- 消化器病



診療のごあんない



(2014年9月から)

		受付時間		月	火	水	木	金	土	
福島生協病院 082-292-3171 (健診:082-292-3215)		午前	8:30~11:45 診察は9:00~	内科	大津 楠石	神尾 多比良 濱本	高岡 飯田 石原	神尾 大津 楠石	琴崎(神経) 飯田 楠本	大 学 交 替
				健診	伊藤 北口	大津 田代	山本 北口	山本 北口	伊藤 田代	石田・佐倉
				外科		9:30~原田		9:30~原田		9:30~交替 10:00~診察
				整形外科	長谷川 杉本	11:00まで杉本	11:00まで長谷川	長谷川 杉本	杉本 長谷川	交 替
				産婦人科	交 替		交 替		交 替	交替(第2・4週休診)
				眼科	岡野 松浦	岡野 松浦	岡野 松浦	11:00まで岡野 11:00まで松浦	岡野 松浦	交 替 (第2週休診)
				小児科	佐伯	佐伯	佐伯	佐伯	佐伯	佐伯(第2・4週休診)
				耳鼻咽喉科	川真田	川真田	川真田	川真田	川真田	川真田(第2週休診)
				皮膚科	小原	小原	小原	小原	小原	小原(第2週休診)
				泌尿器科		9:30~梶原		10:00~亭島		交 替
午後	13:45~16:00 診察は14:00~	内科					高岡(ペースメーカー)			
		外科				田代・原田				
		整形外科					器具外来 予約制			
		眼科	岡野				松浦			
		皮膚科	小原		小原					
		小児科 (予防接種・乳児健診・育児相談)	予防接種	予防接種		13:30~14:00 乳児健診(第1・3・5週) 育児相談(第4週)	予防接種			
夜間	15:30~18:00 火・金は17:00まで 13:45~16:45 診察は14:00~ 16:45~18:00 診察は17:00~	小児科 (診察)	18:00まで 佐伯	17:00まで 佐伯	18:00まで 佐伯	18:00まで 佐伯	17:00まで 佐伯			
		耳鼻咽喉科	川真田	川真田	第2・4週 補聴器外来	川真田				
		整形外科	長谷川			杉本				
生協さえき病院 082-926-4511		午前	9:00~12:00	内科	重本	福山 荒井	篠原	叶 荒井	高内	高内 交 替
				内科 (予約)	福山	重本	重本	福山	福山	服部10:30~(月2回)
				健診	荒井	根本	福山	根本	平野	
				整形外科	倉員(初診)三好(再診)	三好	倉員	三好	三好	交替 10:30まで
				整形外科	高内 倉員	重本	荒井 倉員		14:00~17:00 伊藤 倉員	
夜間	17:00~18:30	内科	高内			17:00~20:00 福山				

		受付時間		月	火	水	木	金	土(第2・4週休診)	
生協内科クリニック (完全予約制) 082-532-1260		午前	8:30~12:00 診察は9:00~	高岡(循環器)	高岡(循環器)	勝谷(女性外来)		高岡(循環器)	高岡(循環器)	
				石橋(循環器)	石橋(循環器)	石橋(循環器)	石橋(循環器)	石橋(循環器)	石橋(循環器)	
				多比良(糖尿病)	飯田(消化器)	大津(消化器)	世戸(消化器)	多比良(糖尿病)	藤原(糖尿病)	
				藤原(糖尿病)	藤原(糖尿病)	藤原(糖尿病)	多比良(糖尿病)	藤原(糖尿病)	藤原(糖尿病)	
午後	13:30~16:30 診察は14:00~ <small>(水曜日のみ 受付15時まで、 診察16時まで)</small>	高岡(循環器)	世戸(消化器)	石橋(循環器)	叶(呼吸器)	大津(消化器)				
		多比良(糖尿病)			藤原(糖尿病)	多比良(糖尿病)				
夜間	16:30~18:00 診察は17:00~				藤原(糖尿病)(隔週)					
					石橋(循環器)					
コープ五日市診療所 082-924-0608		午前	9:00~12:00	内科	佐々木(敏)	佐々木(敏)	佐々木(伸)	佐々木(伸)	佐々木(敏)	佐々木(敏) (第1・3週休診)
		午後	15:00~16:30	内科	佐々木(敏)		佐々木(敏)			
草津診療所 082-272-8665		午前	9:00~12:00	内科	世戸	世戸	世戸	郡山	世戸	世戸(第3週休診)
		午後	15:00~18:00	内科	世戸		世戸	世戸	世戸第3週は整形(予約)	
		夜間	18:00~19:00	内科					世戸	

		受付時間		月	火	水	木	金	土
生協歯科ひろしま 082-291-1333		午前	8:30~11:30	今川	高橋	今川	今川	今川	11:30まで交替
				高橋	山本	高橋	高橋	山本	
				保子	保子	保子	山本	保子	
		午後	11:30~16:30	今川	今川		高橋	今川	
				山本	高橋		保子	高橋	
					山本		小島	小島	
夜間	16:30~19:30	高橋	今川		今川	高橋			
		山本	保子		保子	山本			
		小島			小島				
生協さえき病院歯科 082-926-1148		午前	8:30~11:30	末井	末井	末井	末井	末井	末井
				星	星	星	星	星	星
		午後	13:30~17:00	高浜	高浜	高浜	高浜		高浜
				末井	末井16:00まで	末井		星16:00まで	
夜間	17:00~19:30	高浜	高浜	高浜		高浜16:30まで			
			17:00~末井			16:00~末井			

わがまち **散歩** 広瀬神社 Vol.26

広瀬神社は、寺町通りの寺町電停を西側に入ったところであり、周りは住宅と商店がぎっしり建ちならぶ市街地です。その中で神社は広い境内を確保しています。

天正年間(1573年~1592年)、毛利輝元公広島築上以前から続く古い神社なので敷地も広いのです。明治40年2月進神社として指定され広大な敷地と樹齢300年以上という大樹が森をなし、諸々の社殿が建ち並んでいました。

広瀬町・十日市町・天満町・観音町・福島町にも至る一円の氏神として崇敬され毎年10月第3土曜日、日曜日に盛大に大祭がとり行われます。昔の社殿は、原爆で焼失したので再建された新しい社殿の写真を紹介します。



広瀬神社
所在地: 中区広瀬町1番19号

職場探訪

● **生協さえき病院通所リハビリテーション科**

生協さえき病院通所リハビリテーション科には現在、看護師2名、介護福祉士10名、ヘルパー1名、理学療法士3名、作業療法士1名、事務職員1名の合計18名が在籍し、自宅や施設などで生活をされている方々が通ってこられ、その方々に食事や排せつ・入浴など日常生活のケアや医療処置、リハビリテーションなどを行っています。私たちが大切にしていることは、利用されるその人その人の身体の状況を十分に把握し、可能な限り利用者が持っている身体機能を活用して動作をしてもらえようような介助を提供すること、そして安心して楽しく過ごして頂くことです。

当事業所は生協さえき病院の中にあるので、急な体調の変化にも対応しやすく、安心してご利用頂けます。

昨今、医療や介護の支援が多く必要とする方々が在宅へ帰られています。私たちはこういった状況をしっかり捉え、介護度が高い方々でも安心して、満足のいくリハビリを提供することで、その人らしい在宅生活をサポートしていきたいと思っています。そのためにもしっかり学び、安心して頼ってもらえる職員となれるよう、努力していきたいと思ひます。

利用時間は午前9時30分から午後3時45分です。その間見学はいつでも、予約なしで受け付けております。さえき病院に来られた際には、お気軽にお立ち寄りください。



広島市 国民健康保険 「人間ドック助成」のお知らせ

広島市国民健康保険加入者を対象とした、人間ドックを福島生協病院・健診センターで受けられます。対象の方へは、7月23日(水)に「人間ドック助成のご案内」が発送されています。国民健康保険からの助成(7割補助)を使って、人間ドックを受けることが出来る貴重な機会となりますので、対象の方はぜひお申込下さい。

対象条件	<ul style="list-style-type: none"> ● 広島市国民健康保険に加入している ● 2014年度中(2014年4月~2015年3月31日)で40歳・45歳・50歳・55歳になる ● 「人間ドック助成のご案内」が届いている <p>※上記、全てを満たしている方が対象となります。 ※案内が届いてない方は、広島市健康福祉局保険年金課(082-504-2157)へお問い合わせ下さい。</p>
お申込期間	● 12月26日(金)まで ※先着順のため、お早めにお申込下さい。
お申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 福島生協病院・健診センターへお申込の際には、必ず「広島市国民健康保険の人間ドックの申込」であることをお伝え下さい。必要事項を確認させていただきます。 ● また、「人間ドック助成のご案内」と「保険証」をご準備下さい。(保険証番号の確認が必要となります) <p>※「広島市国民健康保険の人間ドックの申込」であることが確認できない場合、自己負担額が変わる可能性があります。あらかじめご了承下さい。</p>
検診期間	● 2014年8月1日(金)~2015年3月13日(金)まで ※必ずご予約が必要となります。
ご本人様 負担額	● 9,720円(自己負担額、税込み) ※胃部内視鏡検査で、医師の判断により病理組織検査を実施した場合、別途6,480円(税込み)が必要となります。
検診内容	● 身体計測、尿検査、便検査、血液検査、視力検査、眼底検査、聴力検査、心電図検査、胸部X線撮影、胃部X線撮影または胃部内視鏡検査、腹部超音波検査

お申込・お問い合わせは下記までお願いいたします。

総合病院 福島生協病院 2階健診センター ☎(082)292-3215 ※生協さえき病院では実施していません。

組合員の輪

「手づくりサークル」

7月18日、五日市支部手づくりサークルでペーパーフラワーのバラとあやめを作りました。8枚の花びらを中心から花びらが重ならないように交互に一枚ずつバラの形に作っていきます。

茎の部分は葉っぱを付けながら、緑のテープをくるくると巻いて出来上がりです。花びらから葉っぱまで下準備がしてあったので思ったよりも簡単に早く、赤と黄色のバラ3本とあやめ1本が出来ました。



「野菜を使ったお菓子を作りました!」

7月14日、エプロン班会(東区南支部)を行いました。今回のメニューはいつもと違い、全てがお菓子のメニューです。

福島生協病院栄養科調理師の岡さんに野菜を使ったヘル

シーなお菓子を習いました。

「豆腐のおやきずんだ餡」「さつまいもトリュフ」「トマトシャーベット」の3種類を習いました。ずんだ餡は、枝豆を茹でて、サヤから出し調味料を入れて煮込み、ミキサーにかけそこから更に裏ごしをして、なめらかな餡に仕上げました。



「私たち、子育て『バナナ班』で〜す♪」

子育て広場「コープのびのびクラブ」で仲良くなったお母さん達で「バナナ班」を結成して活動しています。

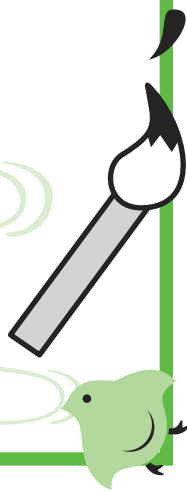
子ども達の年齢が近いのもあり、困っている事・悩んでいる事など、お母さん同士が助け合いながら子育てを楽しんでおられます。また、勉強会も開くなど、一步一步皆で素敵なママへの階段を上っています。



この日はお誕生日会を開催しました。ケーキも飾りつけも全てお母さん達の手作りです。とってもあたたかいお誕生日会になりました。

俳句・山柳

- 挨拶はカープで決まるぞご機嫌度
— 安芸東支部
- おはようと夫に言わぬがポチに言い
— ななかまど
- 増税後暗算できぬもどかしさ
— からたら



介護保険利用の流れ

～第4回 サービスの開始と介護保険のこれから～

広島中央保健生協居宅介護支援事業所 志々目 和恵

ケアマネージャーや包括支援センターの職員が自宅などに訪問して、心身の状況や生活状況などを聞いたうえで、在宅で生活していくための目標をご本人やご家族と一緒に決めます。利用するサービス事業所が決まったら、ケアプランの原案を作成します。原案を基にご本人・ご家族とサービス事業所の担当者を含めて検討を重ね、正式なケアプランが完成します。正式なケアプランが完成してはじめて、サービスの利用が始まります。

サービスは原則1割負担で利用できますが、要介護度により、使えるサービスの上限が決められています。上限を超えると10割負担となるため、経済的に必要なサービスを利用することができず、自己実現や人間らしい生活を営むことが困難な状況で暮さざるを得ない人もいます。

今、国は地域包括ケアシステムの構築に向けて、要支援認定の予防給付のうち、訪問介護と通所介護を地域支援事業に移行するなど、予防重視とうたいながら、予防を軽視したり、特養入居対象者の要介護度を制限したりするなど、介護保険利用を制限させるような政策を推し進めようとしています。

次回、介護保険がどのように進められようとしているのか、もう少し掘り下げてみたいと思います。

続く

理事会より

- 7月初旬に残高通知の発送とともに2014年度特別増資キャンペーンを開始しました。健康グッズを含めて選択肢を広げたことが好評で増資キャンペーンへの協力は順調に広がっています。7月度の出資金ふやしは2,123万円(純増957万円)でした。
- 地域包括ケア時代に向けて動きが急速に活発化しています。「支部の魅力と活動がいっぱい」まるわかり表を支部で完成させて、支部の「ありたい姿」の討議と「3か年計画」づくりにとりくんでいくことを確認しました。
- たすけあいの会(仮称)の概要、たたき台が報告され、支部で意見を出し合っていくことを確認しました。
- 住宅型有料老人ホームの事業収支シミュレーション例について報告がありました。

おたより募集

今回の募集テーマは「夏のできごと」、川柳のお題「食欲」です。

その他、「私の家族(ペット)」も募集しています。写真と簡単な紹介文を編集部までお送りください。おたよりは、ハガキ、ファックス、電子メールにてお寄せください。掲載させて頂いた方の中から、抽選で5名の方に図書カードをプレゼント。たくさんのおたよりお待ちしております。当選は発送をもって代えさせていただきます。

宛先: 733-0031 広島市西区観音町16-19 広島中央保健生協組織部
FAX: 082-532-1267 電子メール: soshikibu@hch.coop